

## 質問と答弁の要旨

※質問と答弁は一部要約してあります。全文については市ホームページの会議録をご覧ください。

### 信号機や横断歩道の設置について



鹿屋農業高校3年 佐野 鈴夏 議員

【質問】 市内では信号機や横断歩道が少なく感じる。信号機が無い交差点での高校生の事故が起きたり、横断歩道以外の道路を渡る高齢者を見かけることがある。市民の安全のため、信号機や横断歩道の設置の考えはないか。

#### 【答弁】

○信号機や横断歩道は、県公安委員会が道路状況や事故の発生状況などから総合的に判断して設置しており、この2年間で信号機3か所、横断歩道7か所が新設されている。  
○交通事故防止には、信号機設置も含め、関係機関や市民の皆さんと連携や協力を図りながら強力に取り組んでいきたい。

【質問】 本校では、自衛隊の航空機訓練等の騒音により、落ち着いて勉強できる環境とは言えない状況であるため、防音対策や空調設備の整備を視野に入れた騒音測定の実施を働きかけてほしい。

#### 【答弁】

○県立高校の防音工事を実施する場合、県が国へ要望を行い、騒音のレベルを測定し、一定の基準を満たした場合に、国の補助金を活用した防音工事等が行われることになっているため、今回の意見は市から県に報告し、考え方を伺うこととしたい。

### リナシティかのやの活用について



串良商業高校3年 牧原 俊生 議員

【質問】 リナシティかのやについて、入場者の目的や利用者数などを教えてほしい。今後どのような施設にしていきたいか、未来の展望など市の考えを教えてください。

#### 【答弁】

○リナシティかのやには、映画館やコンサート、講演会などが開催できるホールや健康ス

### 道路の整備について



鹿屋農業高校3年 湯口 千紘 議員

【質問】 原動機付自転車での登下校時にグリーンロードを通行しているが、道路の端が劣化している。東原町付近の道路交差点が特に著しく、怖い思いをしている。また、大雨の際、道路の水はけが悪く側溝が見えなくなる場所も多く、運転時に危険である。安全に通行できるように

#### 【答弁】

○市では、道路の舗装や側溝の計画的な整備を行うとともに、日頃の道路パトロールや市民からの情報提供により、危険箇所の早期発見に努め、緊急的な対応も行うなど、事故防止の取り組みを強化している。  
○今後も道路利用者の安全を第一に考え、整備に努めていきたい。

### バス停へのベンチの設置について

【質問】 鹿屋農業高校前のバス停やサンキュー寿店前のバス停に、屋根やベンチの設置を検討してほしい。本数の少ないバスを利用する際や、雨の中でバスを待つ際に屋根やベンチがあると、高校生はもちろん、高齢者にとっても快適なバスの利用ができると思う。

#### 【答弁】

○市では、現在策定中の「市域公共交通網形成計画」の中で、バス路線で主要な乗り継ぎ場所となるバス停を中心に、屋根やベンチを設置するなど、改善に努めることとしている。

### 鹿屋市の今後について



串良商業高校3年 中西 翔 議員

○鹿屋農業高校前や、サンキュー寿店前のバス停も含め、高校生の利用が多い停留所に屋根等の設置できないか、バス事業者等の関係機関と協議を進めていきたい。



鹿屋農業高校2年 脇田 朝陽 議員

【質問】 大隅縦貫道が開通したことに伴い、様々な産業が増えつつあるように感じる。開通後の鹿屋市はどのように変化しているのか。また、今後の鹿屋市の構想計画はどのようにしているか。

#### 【答弁】

○東九州自動車道や大隅縦貫道の開通により、人や物の移動時間が短縮され産業や観光の振興、県内外との交流の活性化など、様々な経済効果が期待される。



串良商業高校2年 原田 千里 議員

### 学校の防音対策について

○市では、人口減少を食い止めるため、昨年度、「鹿屋市人口ビジョン」と「鹿屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「やってみたい仕事ができる街へ」、「いつでも訪れたい街へ」、「子育てしやすい街へ」、「未来へつながる住み良い街へ」の四つの基本目標を定め、企業支援、雇用創出、地場産業の販路拡大、交流人口の増加等を推進し、地域活性化に取り組んでいる。

### 臭いへの対策について



鹿屋高校2年 山崎 葵 議員

【質問】 市内では畜産業における臭いが気になることが多々ある。鹿屋市は「ばらのまちかのや」として美しい街を印象付けていると思うが、このような状況は残念である。畜産業は鹿屋市の重要な産業であるため、畜産業の発展を妨げずに臭いの問題を解決するための対策などとしてほしいのか。

#### 【答弁】

○市では消臭のため、畜産農家の消費資材の無償配布や、巡回パトロールによる畜産農家の指導により家畜排せつ物の適切な管理徹底を図るなど、畜産に起因する環境問題の改善に取り組んでいる。  
○今後も臭いの多い地域・地点を特定する調査方法等を取り入れ、臭いの低減に取り組んでいきたい。

## 若者の視点で鹿屋の未来を考える 高校生議会を初開催

8月1日、市内6つの高校から19人の生徒が高校生議員として参加して鹿屋市高校生議会を開催しました。  
これは鹿屋市の次世代を担う高校生が議員となり市議会を模擬体験することで、若い世代に政治への関心を持ってもらい、若者と行政と一緒に鹿屋市の現状や未来について考える機会となるよう開催したものです。今号では高校生の目線から見た本市の課題や提案などそれに対する市の回答を紹介します。

市政策推進課 (3階) ☎0994-31-1125

### 【質問】 鹿屋市は大隅地区で最大の都市であるが、中心部に位置する商店街の活性化について



鹿屋高校2年 永田 大武 議員

ポーツプラザのほか、情報プラザ、学習室、福祉プラザ、物産コーナー等があり、全体で年間338,000人が利用している。今後も地域商店街と連携し、魅力的な商店街の中心的役割を担えるようにしていきたい。

### 【答弁】

○中央地区商店街では、多くの関係者と協力して「街のにぎわいづくり協議会」を立ち上げ、中心市街地の活性化に取り組んでおり、今年度から、魅力ある街づくりのため、地域商店街の若者や様々な職業の皆さんによる中心市街地の構想づくりを行っている。  
○中心市街地の活性化には多く



鹿屋高校2年 徳永 龍哉 議員

### スポーツイベントの開催計画について

【質問】 近年様々な地域住民が参加できるイベントやマラソン大会が行われている。スポーツイベントを行うことにより地域の絆も深まり、地域内外からの参加者を募ることにより人の流れも盛んになると思うが、そのようなスポーツイベントを開催する計画はあるか。

#### 【答弁】

○市では、競技性、専門性の高いスポーツイベントや市民参加型のイベントなどを実施するとともに、トツアスリートによるスポーツ教室なども開催しており、昨年度のスポーツ合宿者は22,889人と県内最多であった。  
○さらに今年度、宿泊先やスポーツ施設、弁当などの予約を一元化して行う「かのやスポーツコミッション」を立ち上げたところであり、スポー